

【団体名】

佐伯文化芸能振興会

【団体紹介】

佐伯文化芸能振興会「輝楽希楽列車（きらきられっしゃ）」は、佐伯区の伝説や昔話を紙芝居にし、それを実演する活動をしています。次世代を担う子ども達に日本伝統の紙芝居文化を継承し、故郷への愛着やほこりを育み、強い絆のまちづくりを目指しています。

【活動状況】

1 紙芝居制作

- ・広島市佐伯区河内地区の1999/6/29土砂災害を忘れない災害紙芝居オリジナル紙芝居制作
 - ① 内容：郷土歴史家/警察/消防に取材し紙芝居のシナリオ、作画をプロの作家に委託制作
 - ② 規格：A2サイズ、カラー、厚紙裏張り補強、2作品

2 紙芝居シナリオ読み聞かせの開催

(1) 読み聞かせ

- ① 開催時間：2019年7月8日
- ② 開催場所：広島市立河内小学校
- ③ 内容：紙芝居のシナリオを三グループに分けた全校生徒162名に読み聞かせし思い浮かんだ場面を画用紙にその場で描いた

3 絵コンクール審査会

- ① 開催時間：2019年8月20日
- ② 開催場所：広島市立河内小学校
- ③ 内容：各学年優秀絵画を一点、区長、警察署長、消防署長、消防団長、自治会長、校長が選出

4 優秀絵画と作家が選んだ絵画および紙芝居展示会

- ① 開催時間：2019年10月12～16日、10月26～27日、11月3～10日、11月17～12月3日
- ② 開催場所：五日市公民館、河内公民館、佐伯区民文化センター、広島市立河内小学校
- ③ 内容：優秀絵画と作家が選んだ絵画および紙芝居のパネル展示と紙芝居3度上演

5 優秀絵画と作家が選んだ絵コンクール表彰式と児童による紙芝居上演

- ① 開催時間：2019年12月3日
- ② 開催場所：広島市立河内小学校
- ③ 内容：優秀絵画と作家が選んだ絵画を表彰し練習を重ねた児童による紙芝居上演を全校児童と父兄、来賓者前で実施

【活動成果】

- ・児童へのシナリオ読み聞かせと作画は、全クラス162名の参加にも拘らず、137点もの応募があり、それらすべてが一日で終了したことは驚きでした。学校側の協力なくしてあり得ないことと、綿密な打ち合わせの賜物と自信にもつながりました。
- ・この度の事業によってお陰様で紙芝居上演や、紙芝居指導のお声を頂くようになりました。今後も精進しながら、脇あいあい元気に続けていければと思っています。
- ・この度は二箇所からの支援に恵まれ、紙芝居、絵本制作と作品展会も実施できました。これほどの充実感をもって完了できたことを心より感謝致します。本当にお世話になり有難うございました。
- ・事業は100%達成されと自負しています。

【今後の課題・展望など】

- ・佐伯区以外の地域を含めて小学校と協働して、地域の出来事等を今回と同じ手法で展開するための経費確保のため、公的機関との共催ができるようにしたいです。
- ・紙芝居公演を充実したものにするため、防犯紙芝居や地域の物語（民話・昔話）も紙芝居化できるようにしたいです。

紙芝居シナリオ読み聞かせの開催



絵コンクール審査会



各長と作家が選んだ絵コンクール表彰式



制作した絵本

